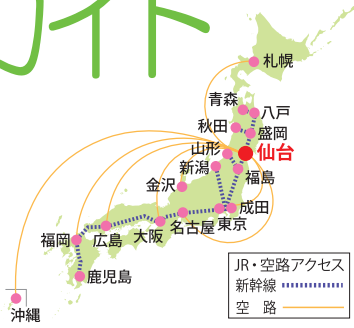
伊達な旅ガイド

Vol.144

笑顔咲くたび 伊達な旅
仙台 Sendai & Miyagi, where smiles blossom 宮城

伊達な旅紀行
いいトコ! みやぎ
毎週月曜日
19:54～20:00
BS-TBSにて大好評放送中

宮城県観光PRキャラクター むすび丸



今回の伊達な旅MAP

JR石巻線渡波駅下車／三陸自動車道石巻・河南ICから約25分

10月28日放送 サン・ファン・バウティスタ号出航400年!

支倉常長（はせくら）ら慶長遣欧使節がヨーロッパを目指しサン・ファン・バウティスタ号で出航してから400 年となる今年、帰国の際に持ち帰った資料が、ユネスコ記憶遺産に登録されました。また、震災の影響で休館していた石巻にあるサン・ファン館もついに復活。支倉常長がどんな思いで遠い異国の地を訪れたのか、歴史のロマンに思いをはせてみませんか。

支倉常長を感じられる場所

支倉家
第13代当主
支倉 常隆さん

私がご案内します

月浦（つきのうら）

牡鹿半島にある月浦。支倉常長は、ここから出帆し、メキシコを通って、スペイン、ローマへ向かいました。

PICK UP

スペインにもある常長像

スペイン南部のコリア・デル・リオという街には、日本を意味する「ハポン」という姓の方が650名ほどいて、その街にも常長の銅像があります。今回の津波で亡くなった方々の追悼式、慰霊祭がそこでも行われました。

●支倉常長像

支倉常長がヨーロッパへの旅に出たのは、1613年10月28日。その2年前には、陸奥慶長地震が発生し、大津波で大きな被害を受けました。

支倉さんに聞く

「伊達政宗公は慶長の大津波からの復興をどうしたらいいか、仙台領・伊達領の繁栄のためにはどうしたらいいかということを考えた結果、メキシコやスペインという当時の大国と貿易をすることを求めたのだと思います。先見の明を持っていたのでしょう」

仙台市博物館

Tel.022-225-3074

支倉常長が持ち帰った資料のうち3点が、ユネスコ記憶遺産に登録。仙台市博物館で見ることができます。

ユネスコ記憶遺産に登録された資料

国宝 ローマ市公民権証書（複製）
「仙台市博物館蔵」

国宝 支倉常長像
「仙台市博物館蔵」

国宝 ローマ教皇パウロ五世像
「仙台市博物館蔵」

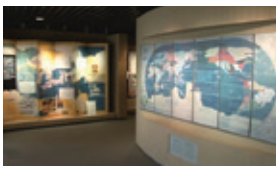
支倉さんに聞く

「常長だけではなく、使節一行の交渉の仕方、滞在中の態度振る舞いなどが向こうの方に好印象を与えていたからこそ、書類などを今まで保管して大事にとっていてくれたのではないかと思います。子孫としては光栄で、感謝の気持ちでいっぱいです」

宮城県慶長使節船ミュージアム（サン・ファン館）

Tel.0225-24-2210

11月3日に再オープン。サン・ファン・バウティスタ号の復元船や支倉常長が辿った経路のジオラマ、ロボットシアターなどを見ることができます。



宮城県慶長使節船ミュージアム 館長 濱田 直嗣さん

「まずは船の雄姿を皆さんに見てもらいたいです。3.11の大津波に果敢に立ち向かい、耐え忍んだ姿が、震災を越えるというシンボルになるだろうと思います」

宮城県慶長使節船ミュージアム
佐藤 幹彦さん

「ロボットシアターは館内に2カ所あり、ロボットを使って、そのやりとりをわかりやすく説明しています」

デザイン・編集・TBSビジョン